



## ステンンドグラスの 淡い光に魅せられて

岩城ステンンドグラス同好会の皆さん6人は月に一度集まり、ランプやパネル、小物などの制作活動に取り組んでいます。久永則子さん(69歳・岩城内道川)は「ガラスの色や質感を生かし、淡い光を多彩に表現できるのが大きな魅力です」と話しました。皆さんは色彩豊かな光の造形を手がけながら、優しい笑顔を輝かせています。(3月14日、岩城会館で)

### 主な内容

## 平成30年度施政方針と主要事業



「たまにつらくなくても、好きだから続けられる」と話す赤川さん

## 《第70回》 ラーメン好きの店主が作るこだわりラーメン

本荘地域 麺屋 歩  
《赤沼下440番地1 ☎74-7344》

■あらまし  
もともと大のラーメン好きの赤川さんが平成28年5月にオープンさせた店。以前パートで働いていた時に作って出していたラーメンが好評だったこともあり、趣味を極めて地元で店を開いた。ラーメン作りはほぼ独学で研究。他のラーメン屋さんを食べ歩いて試行錯誤しながら、おいしいラーメンを追究し続けている。店内に

店主の赤川陽輔さん(35歳)にお話を伺いました。



豚魚そば。こだわりの濃厚なスープが麺によくからみ、食べ応えのある一杯

麺もメニューによって4種類を使い分けているが、特に力を入れてるのはスープ。一押しは「豚魚」のスープは強火にかけて約10時間かき混ぜるなど、手間をかけて仕込んである。とろみのあるスープと甘めのタレの相性を楽しんでもらいたい。サイドメニューでは、ホールスタップが作るチャールシューライスも人気。

■メニュー  
豚骨ベースに魚介や鶏をプラスしたこってり系のラーメンを中心に、しょうゆや塩などのあっさり系もそろえ、いろいろな人に来てもらえるようにしている。



辛痺(からしび)ラーメン。唐辛子と山椒がピリッと効いた一品。辛さとしびれのレベルは選べます。

■これから  
今のままずっとやっていけたら。地元で開いた店なので友達や知り合いも来てくれるし、店を通してまた人の輪が広がっていくのも楽しみ。これまでは自分の好みでこってり系に力を入れてきたが、あっさりしたスープも突きつめ、たくさんの人に気軽に来てもらえるような店にしたい。

■よろこぶ  
やっぱり味を褒めてもらえるのが一番。「しょっちゅう食べたくなる」と言っても週2〜3回来てくれる人もいます。お客さんがたくさん来て、中に座れなくても入り口で待っていてくれるのを見るとありがたいと思う。

**麺屋 歩**

- 営業時間 / 11:00~14:30, 17:00~20:00
- 定休日 / 月・火曜日 (祝日の場合は営業)

本荘第一病院 飛鳥大橋 しぶやごまちクリニック コメリ カダーレ

ゆりほんテレビ情報ランド! での放送は4月5日(木) 番組もぜひお楽しみください!

仕事としてラーメンを作るようになって、自分の作りたいものだけでなく、人から求められるものも意識するようになったという赤川さん。期間限定メニューは、お客さんや友達とのコミュニケーションの中で「こんなラーメンが食べたい」という声に応えて考案することもあるそうです。赤川さんは、まだまだおいしいラーメンを意欲的に追求中。「麺屋歩」のメニューが今後どんなかわりのラーメンに進化していくのが注目です!



ゆったりとしたスペースの店内

### 読者プレゼント 4/19(木)まで

## 広報クイズ 笑売繁盛プレゼントつき!

麺屋 歩から、「煮卵トッピングサービス券」を20人にプレゼント!

■応募資格 / 市内にお住まいの方(応募は1人1通)。クイズの答え(2問)と広報紙に対するご意見や感想など「おたより」を添えてお申し込みください。

〒015-8501 尾崎17番地 尾崎17 広報課 読者プレゼント係 ☎015-8501

住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・おたより

Q1 長坂稲荷神社梵天まつりはどの地域のまつり?  
1. 東由利地域  
2. 大内地域  
3. 西目地域

Q2 鳥海山 木のおもちゃ美術館ができる場所は?  
1. 旧 鮎川小学校  
2. 旧 前郷小学校  
3. 旧 西滝沢小学校

※個人情報記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

# 1 総合戦略と財政



新年度の施政方針を述べる長谷部市長

平成30年第1回市議会定例会が2月19日から3月20日まで開かれ、新年度予算が可決されました。長谷部市長は施政方針の中で「8点に重点を置き、地域の均衡ある発展と市民の皆さまの安全・安心のため、スピード感と緊張感を持って市政を推進してまいります」と決意を述べました。

1点目は「総合戦略と財政」です。本市では、総合計画「新創造ビジョン」に基づき「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定し、「人口減少に歯止めをかける」という最重要課題に取り組んでまいりました。平成30年度においては「新創造ビジョン後期計画」や「第二期総合戦略」の策定を見据え、市民の皆さまの声をお聴きしながら、より効果的な計画となるよう準備を進めます。

財政については、新年度当初予算においても、依然として厳しい状況にあります。

歳出面では「新創造ビジョン」や「総合戦略」に基づき、子育て支援や健康づくりの充実をはじめとする人口減少対策などについて、国の地方創生推進交付金なども活用し、地域の特性を生かしたメリハリのある予算編成としたところ

です。地方交付税は、合併算定替え分が平成32年度で皆減となることなどから、持続可能な財政構造を確立していくため、行財政改革の取り組みを一層推進してまいります。

## 地域の均衡ある発展、安全・安心のため

# 市政さらさらに推進！

## 2 総合防災公園の整備と運営

2点目は「総合防災公園の整備と運営」です。

「由利本荘アリーナ」の建設工事は順調に進んでおり、「アリーナ本体」と「屋根付きグラウンド」はともに6月の完成予定となっております。その後は10月のオープンに向け、関連道路工事などのほか、駐車場や園路などの外構工事とともに、体育備品や防災備品などの購入配備を進めます。



10月のオープンへ整備の進む「由利本荘アリーナ」

「市スポーツ・ヘルスコミッション」ではアリーナを核とし、各種大会やイベント、合宿などの誘致活動を展開しており、スポーツ振興や市民の健康増進、交流人口の拡大、地場産品の活用・販売、宿泊・飲食など、地域産業への大きな波及効果をもたらす「稼げる施設」を目指します。

開館記念事業として、コンサートや日本体育大学の体育研究発表実演会、バスケットボールやフットサルの国内トップリーグ公式戦をはじめ、東北・全県規模の大会やイベントなど、平成30年度内に21の事業を予定しています。総合スポーツメーカー大手の「美津濃

## 3 移住定住と地域ブランド形成

3点目は「移住定住と地域ブランド形成」です。

移住定住の促進では、「仕事」や「住まい」などに係る相談にワンストップで対応するとともに、首都圏などでの相談機会を増やし、

株式会社「が代表を務める「ミズノグループ」が指定管理者となり、管理運営を行います。多くの機会にご来館いただき、大会・イベントの観戦・観覧など、大いにご活用いただきたいと考えております。

移住に伴う課題をスムーズに克服する手助けをしてきました。こうした取り組みにより、平成27年度以降の本市への移住者は52組99人に達しています。2018年版「住みたい田舎ベストランキング」では、東北総合第3位、人口10万人未満の自治体で全国総合第21位を獲得しており、移住促進の取り組み、子育て環境や医療体制などが評価されたものと考えています。今後も仕事を柱にした移住体験ツアーの年間開催や継業、起業・創業への支援など、地域との関わりを重視した事業に取り組みでまいります。

また、「ものづくり企業」に対し専門家を派遣し、魅力的な情報発信力の強化に努めるほか、高校生就職活動サポートセミナーの開催などにより、若年者の地元定着とUターンを促進します。

市産品の販路拡大については「まろい」と売り込み連携協定」などを締結した企業を中心に、フェア

## 4 産業・観光振興と雇用確保

4点目は「産業・観光振興と雇用確保」です。

商工業の振興については、引き続き企業誘致を進めるとともに、地元事業者向けの「中小企業融資あっせん」「商業店舗リフォーム補助」「IOTに関する技術者研修会」などを実施し、意欲的な取り組みを支援してまいります。

また、「就業資格取得支援助成」「女性の地元定着に向けたセミナー」などにより再就職や定着を支援するとともに、「創業支援補助」により起業・創業を促進し、新しい働き方の実現も支援します。

観光振興については、鳥海山をはじめとした豊かな自然や番楽などの民俗文化、北前船に関連した文化的資産など、多様な観光資源を生かしてまいります。



「由利本荘まるごとフェア」(京北スーパーで)

「鳥海山観光」については法体の滝周辺の魅力向上を図るとともに、にかほ市や山形県庄内地域と連携し、環鳥海エリアの滞在型観光など、「鳥海山を核とした広域観光振興」を推進します。

鳥海山・飛鳥ジオパークについては、市内16カ所のインフォメーションコーナーやジオサイト解説看板、案内看板をさらに充実させるなど、市民の皆さまや市外から訪問する方に興味を持っていただけるよう努めてまいります。

北前船については昨年4月に、7道県の11自治体が「日本遺産」に認定され、現在、本市を含めた14道府県27自治体が本年4月の追加認定を文化庁に申請しており、北前船寄港地としての歴史や文化を観光や地域振興につなげたいと考えています。

訪日観光については、トップセールスの効果により、台湾からの誘客が順調に伸びているほか、新たにタイ王国から観光や教育旅行で本市を訪れております。本市の魅力を紹介し「おもてなし」の心で海外からの誘客活動を積極的に展開します。

農林水産業については、高齢化や後継者不足に加え、本年産以降の「米政策の見直し」など、大変厳しい状況にあると認識しております。市としては、担い手の確保・

の推進により、さらなる秋田由利牛ブランドの確立に取り組みます。

農業生産基盤整備については、本荘地域松ヶ崎地区と矢島地域小坂戸地区の県営ほ場整備事業採択に向けた調査計画とともに、ため池や用排水路、頭首工の整備を実施するほか、農業生産活動への支援を継続してまいります。

森林・林業では民有林造林促進事業への支援や市有林の施設管理などを実施するとともに、松くい虫やナラ枯れ被害防止対策を講じ、林地健全化と景観保全に努めます。水産業では西目・道川漁港施設の機能保全事業の実施とともに、漁業者と一体となって水産資源の活用に取り組みます。

5 消防・防災

5

5点目は「消防・防災」です。

「防災減災のまちづくり」として、地域防災拠点となる総合防災公園の整備を進めるとともに、消防車両の更新や消防団員の安全確保を図りながら機能強化を目指します。

市の「地域防災計画」については国や県の計画に合わせ、災害対応策などの修正を4月に完了する



力を合わせて、迅速に(防災訓練のパケツリレー)

育成と産地における一層の競争力強化を図るため、本市農業の維持・発展に努めるとともに、農家の皆さまが意欲を持って生産を持続し、安定した農業経営に取り組みめるよう支援してまいります。

米対策については、市場を重視した生産への意識改革を促し、今



鳥海山を核とした広域観光振興を推進(ジオツアーで)



秋田由利牛のブランド確立、鳥海りんどうやアスパラガスなどの振興に取り組みます

予定です。この計画に沿い、自主防災組織への活動支援、風水害や地震、津波など自然災害発生時の応急体制の整備、災害情報・避難情報などの伝達体制を整備します。また、同報系防災行政無線の子局増設工事を本年度は矢島、西目地域で実施するほか、Jアラート(全国瞬時警報システム)の新型受信機を導入し、大規模災害や緊急時の情報伝達に備えてまいります。さらに、災害現場と災害対策本部間の情報共有の強化策として、新たに「災害時情報共有システム」を導入するとともに、火山対策では、本市などが組織する鳥海山火山防災協議会の事業として「住民避難計画」と「火山ハザードマップ」の作成を進めます。

6

教育・文化・健康福祉

6点目は「教育・文化・健康福祉」です。

具体的な教育施策については教育長の「教育方針」で述べますが、北部学校給食センターの建設や由利中学校の大規模改修事業など、「学校環境の整備」に努めるとともに、10月オープン予定の「由利本荘アリーナ」を核とした「スポーツ立市の推進」、全小中学校コミュニティ・スクールのまちとして「地域力を生かした学校づくり」、学校力を生かした地域づくりなど、「ふるさと愛を育む教育」を推進してまいります。

「鳥海山木のおもちゃ美術館」

交付金の活用や機械施設導入などへの市独自の嵩上げによる支援を行います。

また、新規就農者や法人などの担い手確保・育成を図るとともに、農地中間管理事業や「条件不利農地を担う経営体支援事業」などにより農地の利用集積を推進し、担い手による効率的な農用地利用に努め、市の農業基盤を維持します。畜産については、畜舎の増改築や優良な素牛導入などへの支援に加え、小規模農家の畜産経営持続化支援にも努めてまいります。秋田由利牛振興については、「第二次秋田由利牛ブランド確立事業計画」

については、国登録有形文化財「旧鮎川小学校」の美しいたたずまいを最大限生かし、館内には地元産の木を使ったおもちゃや大型遊具を設置します。市内の林業関係者や子育て支援団体の新たな活躍の場として子どもから大人までが楽しめる「多世代交流・木育美術館」に位置付け、7月1日のオープンに向け、市内外から多くのお客さまをお招きするための準備を進めてまいります。健康福祉に係る成人保健関係については、健康寿命の延伸を目指し、生活習慣病の予防と改善効果が実証されているインターバル歩の普及拡大と合わせ、継続的な健康づくりの拠点となる「健康の駅」の構築を目指します。



生活を支える社会資本を整備

7 点目は「社会資本整備・環境」です。

市の社会資本整備については橋などの点検、道路補修や機能保全工事を重点的に行うとともに、地域の実情に合わせた除雪作業による冬季交通の確保を行い、安全・安心なまちづくりを進めます。

なお、市道猿倉花立線については平成32年度の供用開始を目指し、事業の推進を図ってまいります。

「住宅リフォーム資金助成事業」については、手厚い助成内容に制度を改正してきており、地域経済の活性化や居住環境の向上、地域定住や移住の促進にもつながるよう継続実施します。

水道事業については、川口地区の基幹配水管耐震化工事、岩城地域と松ヶ崎地区との連絡管布設工事に着手するとともに、各地域の老朽管更新工事を継続実施します。

## 社会資本整備・環境

# 7

## 施政方針



妊娠中から子どもを産み育てやすい環境を整備



木のおもちゃで遊ぶ親子連れ (木育キャラバンで)

ガス事業については、経年管更新事業を推進し、ガス導管のさらなる安全確保に努めるとともに、環境に優しいクリーンな天然ガスの利用促進を積極的に図ります。

下水道事業については水林浄化センターと前郷浄化センターの設備更新、岩谷浄化センターの長寿命化詳細設計を、農業集落排水事業については本荘地域の内越第一クリーンセンター・小友第二クリーンセンターの機能強化工事を実施し、東由利地域の老方館合地区の実設計の策定を行います。

JR羽後本荘駅周辺整備については、東西自由通路などの実施設計や駅東広場の用地補償を実施しており、本年度は4カ年の継続事業としてJR東日本と工事委託の協定を締結し、仮駅舎建設などの準備工事に着手します。

再生可能エネルギーについては、これまでに66基、108基の風力発電所が稼働しており、本年度には新たに2カ所に14基、43基の稼働が予定されております。

また、太陽光発電については、本年10月に岩城地域で「由利本荘市ソーラーパーク」の稼働が予定されているほか、本市沖での洋上風力発電事業が計画され、各種調査検討が行われています。市では環境や景観に配慮しながら、情報提供や助言などの支援を行います。

母子保健については妊婦健診や乳幼児健診、5歳児健康相談、フツ化物洗口などへのきめ細やかな対応とともに、ロタウイルスや成人風疹予防接種、不妊治療費助成などの事業を継続し、妊娠中から安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を図ります。

自殺予防対策では、新たに自殺予防推進委員会を発足し、多方面からのご意見をいただきながら自殺予防対策計画を策定します。

地域医療については、本市の独自制度である医師研修資金貸付制度や医師確保奨学資金貸付制度による医師の確保・定着を図り、地域の中核病院を支援するとともに、市営診療所などを維持し、医療を受ける機会の確保に努めます。また、由利本荘市地域医療検討会を開催し、市全体の地域医療のあり方を整理します。

子育て支援については、子どもを産み育てやすい環境の創造に向け、第2子が生まれた世帯の第2子の保育料の無料化、保育料助成の所得制限の緩和など、子育て世帯のこれまでの保育料助成を拡充し、経済的負担の軽減に努めます。

また、「(仮称)由利本荘市いきいきこどもプラザ」を整備し、妊娠期から子育て期までを継続的、包括的に支援できる環境をさらに充実させてまいります。

高齢者福祉については、高齢者



活気にあふれ、にぎわうまちに

## 地域コミュニティの再生

# 8

最後に、8点目は「地域コミュニティの再生」です。

本市の出生数と婚姻数の減少を克服するため、『独身者の出会いの場づくり』を支援します。結婚支援団体や企業、結婚サポートの意見交換・情報共有の場づくりを実施するほか、新たに「あきた結婚支援センター」の「由利本荘市サテライトセンター」開設を支援し、あきた結婚支援センターへの登録をさらに促進します。

公共交通については、鳥海山ろく線への支援と助言、生活バス路線の維持確保、コミュニティバスの運行などに取り組んでまいります。

一人一人の状況に応じた適切な生活支援サービスを提供するとともに、介護を必要とする方やその家族が安心してサービスを利用できるように、介護サービス基盤の充実と質の向上に向けた取り組みを進めます。

本年度は新たに「北部地域包括支援センター」を開設し、総合相談体制をより一層強化するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの機能強化に取り組みます。

また、障がい者福祉については本年度を初年度とする「第5期障がい者福祉計画」に基づき、障がいを持つ方が地域において自立した日常生活を営むことができるよう福祉サービスの充実を図ります。

国民健康保険事業については、4月から都道府県単位での財政運営となります。今後も、県との連携を図りながら、安定した事業運営に努めてまいります。



健康長寿を願って

さらに地域事情に即した形での「乗り合いタクシー」や、非営利団体などによる「公共交通空白地有償運送」などの導入も含め、持続可能性に配慮した「生活の足」の確保と交通空白地域の解消に努めてまいります。

情報政策については本年度は、Wi-Fiアクセスポイントを避難所指定となる「由利本荘アリーナ」をはじめ、市総合体育館や出張所など15施設に整備します。

ケーブルテレビ事業については、専門的知識や技術を有する民間への管理運営移行も視野に入れた、今後の方向性として「直営」「指定管理者制度」「施設を民間に貸し出すIRU契約」などの調査・検討を進めます。

また、ケーブルテレビでのインターネットについては、今後10年間を想定した通信量に対応するため拠点間伝送設備を更新し、大容量・高速化に対応した通信環境の整備を進めてまいります。

今後も行財政改革を加速させながら、地域の均衡ある発展と市民の皆さまの安全・安心のため、スピード感と緊張感を持って市政を推進してまいりますので、引き続き、市民の皆さまのご理解、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 6つの指針に基づき、各種教育施策を実施

## 佐々田教育長が「教育方針」を説明

佐々田教育長は市議会で本年度の「教育方針」を述べました。要旨は次のとおりです。



教育委員会では「ふるさと愛に満ち、創造性あふれる人づくり」を目指して、6つの指針に基づき、各種教育施策を実施してまいります。

その指針とは『地域力を生かした学校づくりと学校力を生かした地域づくり』『進取の気性を育む学校教育の推進』『生涯学習の推進と地域活動の活性化』『芸術文化の振興と文化財保護活動の推進』『スポーツ立市の推進』『教育施設等の整備と充実』であり、教育委員会では本年度も引き続きその推進に努めてまいります。

### たくましく子どもの育成

学校教育については「人間性豊かで進取の気性に富む、たくましい子どもの育成」を目標に掲げ、市内約5300人の児童生徒の「豊かな心と感性の醸成」と「確かな学力の形成」に努めてまいります。

本年度は「道徳の教科化」や「小学校外国語活動の実施」など、学習指導要領改訂による先行実施が始まります。新たにALT・コーディネーターを配置するとともに、英語教育拠点校の由利小・由利中学校、アクティブ・ラーニングのフィールド校である西目小・西目中学校の取り組みを全市に拡大することにより、主体的・対話的な力を付けさせるなど、知・徳・体の調和のとれた、新たな時代のニーズに応じた教育に努めます。コミュニティ・スクール(CS)

の推進については「全小中学校CSのまち」として地域・保護者・学校・行政の一層の連携を図りながら、「地域力を生かした学校支援」「学校力を生かした地域づくり」を進めてまいります。

さらに、大阪府箕面市と締結した「教育協定」に基づく交流事業を通じ、中学生の英語教育や生徒会活動の活性化などに継続して取り組みます。

また、体験型の科学・理数教育の充実と教員OB・大学教員・地域人材などを積極的に活用した「ホットヒート科学の心事業」や「科学フェスティバル事業」なども推進してまいります。

併せて、「言語」を学び、「感性」を磨き、また、想像力の発揮に欠くことのできない『読書活動』の充実に向け、「子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校の一層の連携と相互協力を図り、その推進に努めます。

生徒指導については「いじめ防止基本方針」の徹底と教育委員会事務局の指導体制の強化を図り、子どもを確かに見る観察眼を持つて子どもに寄り添い、教え、導く教師としての姿勢を堅持しながら「いじめを決して許さない」という毅然とした態度で臨み、子どもの個性を最大限伸ばす教育活動を進めるよう指導してまいります。

軽減を図ります。

### 教育環境の整備・充実

教育環境の整備については、由利中学校大規模改修工事の実施、小友小学校厨房空調設備設置工事や鶴舞小学校放送設備更新をはじめ、トイレの洋式化など、小中学校の環境整備を計画的に進めます。特に学校の改築については、全体的に老朽化の進んでいる学校の改築に向けて具体的な方針や計画を定め、進めてまいります。

児童の減少や新たな教育活動に対応した本荘地域の小学校再編については「学校環境適正化検討委員会」の提言を受け、調査研究を進めながら、引き続き保護者や地域の皆さまと対話・熟議を重ね、『第二次学校環境適正化計画』の策定に向けて取り組みます。

さらに学校給食においては「食の一層の安心安全」「安定的な給食の提供」、そして「食育の充実」に対応するため、市内の小中学校8校、約2700人の食に対応できる「北部学校給食センター」の建築に着手し、平成32年8月、夏期休業終了後の稼働を目指して、施設の整備を進めてまいります。

### 生涯学習・社会教育の推進

生涯学習・社会教育の推進については、『第三次生涯学習推進・社会教育中期計画』に基づき、市政にかかわる身近な生活課題を学習

する場を提供するほか、市民の自主的な学習活動への支援、各種講座・教室などの充実を図ります。

さらに、学習活動を支援するためのガイドブックである「郷育(きょういく)」の改訂を行い、一層の充実を図るとともに、生涯学習奨励室と生涯学習奨励員との連携による「学習の場」の開設や「生涯学習創作展・発表会」など、学びの成果を披露する機会を設け、学習意欲の喚起と成果を地域で生かす取り組みを進めます。

また、地域が学校と連携・協働して子どもたちの成長を支えるため、「学校支援ボランティア」地域コーディネーター」の方々が学校行事や課外活動などの場で活動する機会を拡充するとともに、広報や周知に努めてまいります。

さらに、自学形式による学習支援の場として、長期休業期間を活用した「学ぶんスペース」を設置してまいります。

社会教育施設の運営にあたっては公民館などでの講座や教室の充実にも努めるとともに、環境・防災など市民生活に密着した学習に加え、「鳥海山・飛鳥ジオパーク」や「北前船寄港地」、「伝統芸能」に関わる学習活動を進めます。

本年7月1日オープン予定の「鳥海山木のおもちゃ美術館」については「多世代交流の場」として、また木の文化を伝え、子ども心を豊かにする「木育推進の場」として推進してまいります。

中央図書館と、各地域の図書館・公民館図書室、学校図書館の緊密な連携を図り、読書活動の一層の



次の時代を担う児童生徒を育成



市民が主役の「スポーツ立市」を推進



民俗芸能の保存、芸術文化を振興

推進と利用者へのサービス向上に努めます。

特に、本年度は中央図書館と市内小中学校が連携し、「佐藤憲一顕彰会」や「公益財団法人図書館振興財団」の協力や支援をいただきながら、全国コンクールへとつながる「由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、蔵書数16万8千冊に及ぶ中央図書館の特徴と機能を十分に生かした取り組みを行います。

### 市民主役のスポーツ立市

スポーツ振興については昨年来、本荘南中学校と本荘高校のボート部の全国優勝や「愛媛国体」カヌー競技と弓道競技の優勝、「全国障害者スポーツ大会」陸上競技での優勝、また、由利高校の「春高バレー」全国ベスト8進出、由利工業高校硬式野球部の「センバツ」出場決定など、本市選手の活躍が続く、「スポーツ立市」として大きく飛躍した年でありました。

本年度は「由利本荘アリーナ」をスポーツ振興の拠点施設に位置付け、『スポーツ振興計画』の基本目標である「健康で笑顔あふれる地域づくり」を目指し、スポーツを通して「躍動と活力のあるまち」「市民が主役のスポーツ立市」の推進を図ってまいります。

生涯スポーツの振興においては「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」豊かなスポーツライフを実現できるよう、「チャレンジデー」への積極的な参加とともに、スポーツ推進委員や各競技団体と連携し、スポーツ・レクリエーション活動の普及、定着に努めてまいります。競技スポーツの振興においては、各競技団体と連携を図り、指導者の育成に加え、子どもたちが夢をもってスポーツに打ち込めるよう、プロ選手やスポーツ振興大使などのトップアスリートによるスポーツ教室を開催し、一層の競技力の向上に努めます。

また、プロや東北規模のスポーツ大会の誘致を図り、「観るスポーツ」の充実にも努めます。

特に、本年9月には「魁星旗争奪少年サッカー大会」が本市で開催されるほか、由利本荘アリーナでは「東北小学生バレーボール選手権大会」や「フットサルリーグ、ヴォスコオーレ仙台」、「Bリーグ、秋田ノーザンハピネッツ」のシーズンゲームなどが予定されており、ハイレベルな試合を観戦することで、スポーツの醍醐味と感動を市民の皆さんに伝えられるものと期待しております。

体育施設の整備については、サンスポーツランド岩城のテニスコート改修や東由利体育館照明のLED化、西目サッカー場管理棟の空調設備修繕などを実施し、利便性の向上を図ってまいります。

### 文化を育むまちづくり

文化財保護については最終年を迎える「鳥海山北麓の獅子舞音楽記録作成事業」の過去3年間の調査結果を学術的な報告書としてまとめ、記録保存を図るとともに、

国の指定を目指してまいります。

民俗芸能の伝承については、民俗芸能伝承館「まいいれ」を拠点に企画公演や特別公演を開催しながら、市内の小学生在が芸能に触れる機会を新設するとともに、市内外の民俗芸能団体の交流活動も行う、保存と継承に努めます。

日本遺産の追加認定を目指している「北前船寄港地」については、保護・活用の観点から貴重な文化財として位置付けるため、町並みや歴史的建造物について継続して調査を行い、有形文化財の国登録を目指します。

約七千年前の先人が形成し、日本海側で最も古い「菖蒲崎貝塚」については、国指定を視野に、文化庁の指導を直接受けながら、関係機関と保存に向けた協議を進めてまいります。

さらに、市の史跡である「由利仲八郎政春終焉の地」については整備計画策定に向けた調査を継続し、併せて天鷲村に所在する市指定有形文化財「佐々木家住宅」の保存修理事業に取り組みます。

芸術文化の振興については、子どもたちの生きる力や感動する心を養うため、劇団四季による「こころの劇場」や「芸術鑑賞教室」を引き続き開催し、優れた舞台芸術に触れる機会を創出します。

国民文化祭の成果を継承する「人形劇フェスティバル」については、本年度も市民団体が主体となつて開催するほか、本市の芸術文化に触れる「地域文化活動公演」などにも取り組み、市民の活動意欲の高揚を図りながら、芸術文化の振興に努めてまいります。

さらに、「由利本荘美術展」を継続して開催し、創作意欲の向上と芸術文化の向上に努めます。

加えて、市民一人一人が人生の豊かさや生きがいを持ち、創造性あふれる心の醸成を図るため、芸術文化や文化財保護などの各種団体が行う市民文化活動を支援するなど、「芸術文化活動の盛んな、文化の薫り高い、ふるさと愛に満ちた風土づくり」に努めてまいります。今後も本市の教育行政にご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆「市長の行動」報告（2月分）

※市ホームページ「市長室からこんにちは」もご覧ください

2月1日(木)	市豪雪対策本部会議 大内地域 市民とのふれあいトーク
2日(金)	矢島地域 市民とのふれあいトーク 矢島まちづくり協議会並びに行政協力員連絡協議会合同懇親会
5日(月)	市優良技能者表彰式・祝賀会
6日(火)	市職員除雪協力隊出発式 五役・部長・支所長会議
7日(水)	市スポーツ賞表彰式 市まちづくり協議会連絡会議・懇親会
8日(木)	本荘地域 市民とのふれあいトーク
13日(火)	五役会議 新年度予算 市議会会派内示 定例記者会見 小友財産区管理会
14日(水)	企業訪問(東京都)
15日(木)	企業訪問(東京都) 省庁要望(東京都)
16日(金)	由利工業高校野球部選抜高等学校野球大会出場報告会
17日(土)	岩城建設技能組合設立60周年記念式典祝賀会
19日(月)	市議会定例会本会議(開会)
20日(火)	子吉財産区議会定例会
22日(木)	県知事へ要望書提出(秋田市) 本荘・由利の会(秋田市)
23日(金)	県国民健康保険団体連合会国保事業功労者表彰式・総会・理事会(秋田市)
24日(土)	西部地区懇談会・懇親会
26日(月)	五役会議
28日(水)	現場視察(由利本荘アリーナ)

◆市長交際費の報告

◎：代理出席

(1) 弔 事	件 数	支出額
合計	7 件	125,000

(2) 会費等 (円)

支出日	支出内容	支出額
2月2日	矢島まちづくり協議会並びに行政協力員連絡協議会合同懇親会会費	3,000
3日	土木部本荘・由利会親睦会へ寸志(◎建設部長)	3,479
5日	市優良技能者表彰式祝賀会会費 秋田・広域観光生協の集い・北前船寄港地フォーラム2018新春の会費(◎小野副市長)	6,000
7日	市まちづくり協議会連絡会議懇親会会費	4,000
10日	南内越地域懇談会懇親会会費(◎阿部副市長)	1,000
14日	JA秋田しんせい宮農生活振興協議会懇親会へ寸志(◎小野副市長) 北前船交流拡大機構及び北前船寄港地フォーラム2018新春の会費(◎教育長)	3,460
15日	企業訪問時特産品お土産	3,150
17日	岩城建設技能組合設立60周年記念祝賀会会費 由利本荘地区自衛隊入隊予定者激励会懇親会会費(◎市民生活部長)	5,000
24日	西部地区懇談会懇親会会費 西滝沢地区行政連絡協議会懇親会へ寸志(◎由利総合支所長)	2,000
25日	前郷駅愛好会総会懇親会へ寸志(◎企画調整部長) 雪上野球W杯東由利大会表彰式懇親会へ寸志(◎東由利総合支所長)	3,440
合計		65,444

副市長交際費執行状況 (円)

支出日	支出内容	支出額
2月2日	矢島まちづくり協議会並びに行政協力員連絡協議会合同懇親会会費(小野副市長出席)	3,000
4日	ゆりほんリピーターズクラブ総会交流懇親会会費(小野副市長出席)	3,000
5日	市優良技能者表彰式祝賀会会費(阿部副市長出席)	6,000
7日	本荘法人役員合同研修会懇親会へ寸志(小野副市長出席)	3,480
合計		15,480



歌で歓迎する園児たち

春を告げるおひなさまにうつつと、由利本荘ひなめぐり「町中ひなめぐり」にぎわう。初日には矢島駅でオープニングセレモニーが行われ、おひなさまに扮した矢島保育園の園児たちが、おぼこ号の「おひなっこ列車」から下車した人たちに歌とメッセージで歓迎しました。矢島地域では、商店や一般宅など25カ所でおひなさまを展示。来場者は趣の異なるおひなさまを眺めては「素晴らしいね」「どれもすてき」と一足早い春を楽しんでいました。

春を告げるおひなさまにうつつと、由利本荘ひなめぐり「町中ひなめぐり」にぎわう。

Yurihonjo City Topics



梵天を担ぎ社殿に突入する男衆

約200年の歴史を持ち、五穀豊穡や家内安全を祈願する「梵天まつり」が3月11日、大内地域の長坂稲荷神社で行われました。

長坂稲荷神社梵天まつり 五穀豊穡を祈願、激しい奉納合戦

今年、下川大内保育園や大内小学校のミニ梵天を含め、地元町内会や企業、大内中学校から合わせて17本の梵天が奉納されました。参道の入り口では、男衆が梵天歌を披露し氣勢を上げた後、神社の境内へ。男衆は色とりどりの梵天を担ぎながら次々と社殿に突入りし、激しい奉納合戦を繰り上げていきました。

事業名	事業費(千円)
鳥海地域市有バス購入事業	7,000
スポーツ・ヘルスコミッション推進事業	2,688
総合防災公園関連事業	327,737
鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業	12,013
公衆無線LAN設備整備事業	27,062
基幹系業務システムコンビニ収納対応事業	6,800
住民自治活動支援交付金事業	17,612
地域づくり推進事業	27,399
生活バス路線等維持事業	110,116
コミュニティバス運行事業	120,283
由利高原鉄道運営補助事業	91,265
ふるさとさくら基金事業	80,951
鳥海山木のおもちゃ美術館整備事業	78,425
移住・定住促進事業	10,820
福祉医療費支給事業	721,697
介護給付・施設訓練等給付事業	1,550,543
障がい者医療費	99,584
地域生活支援事業	104,362
生活保護費	1,136,866
生活困窮者自立支援事業	18,639
放課後児童対策事業	95,613
施設型給付事業(民間保育所・認定こども園・幼稚園)	2,603,072
すこやか子育て支援事業	10,855
児童手当給付事業	1,026,002
子育て支援金支給事業	30,020
「(仮称)由利本荘市いきいき子どもプラザ」整備事業	4,917
敬老会開催事業	15,402
高齢者祝金給付事業	10,800
広域分担金(介護保険費)	1,304,812
地域包括支援センター事務費	36,187
介護予防・日常生活支援事業	24,037
地域ミニデイサービス活動支援事業	4,788
ごみ減量化推進事業	60,252
由利組合総合病院運営費補助事業	20,000
母子保健事業	58,691
住民検診事業	34,390
感染症等予防対策事業	133,214
健康の駅ネットワークを活用した地域活性化プロジェクト事業	8,817
勤労者金融対策事業	50,000
稼く産業人材確保支援事業	936
農業夢プラン事業	74,231
農業次世代人材投資事業	24,056
新規就農者経営開始支援事業	65,670
元気な中山間農業応援事業	76,134
売れる米づくり推進事業	3,800
秋田由利牛肥育振興対策事業	4,500
秋田由利牛生産体制整備事業	3,139
小規模畜産経営維持拡大支援事業	5,000
県営担い手育成基盤整備事業	5,538
多面的機能支払交付金事業	426,920
中山間地域等直接支払交付金事業	481,587
民有林造林促進事業	24,000
水と緑の森づくり税事業	21,354
水産物供給基盤機能保全事業	56,734
中小企業融資あっせん事業	36,042
工場等立地促進雇用奨励金交付事業	13,000
由利本荘市商工会運営費補助事業	30,000
由利本荘市観光協会補助事業	20,300
鳥海山等観光振興事業	4,549
北前船寄港地交流促進事業	1,517
青少年旅行村整備事業	20,450

事業名	事業費(千円)
まるごと売り込み事業	7,761
集出荷体制推進事業	4,706
猿倉花立線整備事業(社会資本整備総合交付金事業)	152,000
橋梁長寿命化修繕事業(〃)	106,000
田尻石脇線改良事業(〃)	160,000
由利本荘市総合防災公園整備事業(〃)	3,226,241
道路維持事業	100,000
羽後本荘駅周辺整備事業	361,683
住宅リフォーム資金助成事業	51,183
同報系防災行政無線屋外拡声子局増設事業	84,240
消防水利整備事業	99,000
由利中学校大規模改修事業	149,000
北部学校給食センター建設事業	355,085
児童・生徒学校生活サポート事業	62,702
A L T 招致事業	42,588
文化交流館管理運営費	171,710
サンスポーツランド岩城テニスコート大規模改修事業	87,100
由利本荘アリーナ指定管理委託費	81,090
鳥海山木のおもちゃ美術館運営事業	17,368
木育推進事業	5,624
公共土木施設災害復旧事業	569,527
ケーブルテレビ拠点間ネットワーク伝送設備更新事業	60,000
公共下水道事業	550,141
特定環境保全公共下水道事業(2処理区)	74,000
農業集落排水事業(4地区機能強化)	218,000
矢島スキー場改修整備事業	25,906
下水道工事に伴う配水管布設替工事	129,060
重要給水施設に係る配水管布設替工事	243,378
ガス経年管更新事業	111,913



若い担い手を支援し、活力あるまちづくりを目指します

一般会計・各特別会計予算

一般会計	45,180,000
国民健康保険	8,693,287
後期高齢者医療	819,133
診療所運営	331,819
休日応急診療所運営	10,926
情報センター	498,059
奨学資金	68,157
介護サービス	54,383
下水道事業	2,957,841
集落排水事業	2,145,147
スキー場運営	192,948
小友財産区	3,364
北内越財産区	16
松ヶ崎財産区	917
水道事業	4,314,593
ガス事業	1,654,427

待望の「由利本荘アリーナ」や「鳥海山木のおもちゃ美術館」がオープン！子育てや健康づくりの環境整備と防災対策の充実に取り組み、飛躍の年へ

# ウッドスタート 木育 誕生祝い品を贈呈します

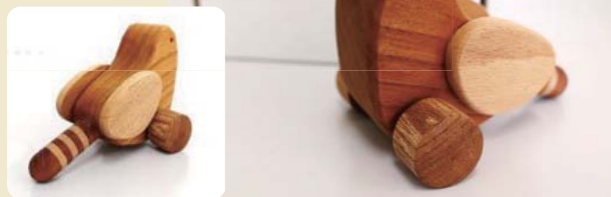
平成30年4月2日以降に生まれた赤ちゃんに地元の職人が地元産材で作った「木のおもちゃ」を贈る「誕生祝い品贈呈事業」が、本年度から始まります。

贈呈する「木のおもちゃ」を公募し、以下の2作品に決定しました。生まれたお子さんのご家族にいずれか一つをお選びいただき、プレゼントします。

## よちよちとりっこ キジ

製作者：木工舎つきのわ 岡本 雄さん

市の木「けやき」を使用。市の鳥「キジ」をイメージしたおもちゃです。

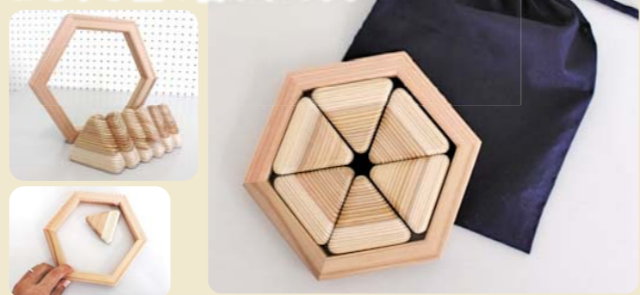


角度を付けて取り付け付けた車輪でよちよち歩きを表現、胴体には小豆を入れてあるので、ガラガラとしても遊べます。かわいらしいデザインはインテリアにもなります。

## おむすびころりん

製作者：木楽工房 和田 良司さん

米どころ由利本荘をイメージ。おむすび型の積み木です。



秋田杉本来の木目と色で、パズルのように遊ぶもよし、ままごととしてもよし、六角形の枠で音を出したり、遊び方は十人十色。無限の可能性を秘めた積み木です。

## 美術館開館にあわせて おもちゃ列車の運行を計画しています

※おもちゃ列車の内装イメージ



おもちゃ列車は、由利高原鉄道の車両1台を改装するもので、内装を木質化して木のおもちゃなどを配置します。

おもちゃ列車利用者駐車場 ●旧秋田銀行本荘駅前支店跡地(ときわ会館隣) ●矢島駅駐車場

専用のシャトルバスを運行します 鮎川駅 ↔ 木のおもちゃ美術館

## Interview



木内 美代子 さん (63歳・東鮎川)

私にとって鮎川小学校は画家谷内六郎が描く風景と重なり、今にもイガグリ頭の少年が校舎から飛び出してくるような雰囲気を持っていると思っています。そんな田舎の学校が木のおもちゃ美術館として生まれ変わるのですから、サロンの場、ぬくもりの場としても愛されるよう、市の頼もしい存在となってくれ、そのことを切に祈ります。



和田 良司 さん (58歳・小人町)

旧鮎川小学校は、地域の方々に大切にされて、思い出が詰まった建物です。おもちゃ美術館に形は変わっても、子どもも大人も誰もが集い楽しめる場所になればと思います。地元の材を使った木の遊具や木のおもちゃなど、子どもたちは木を五感で感じながら木に親しめます。趣ある木造校舎に、再びにぎわいが戻ってくることでしょう。

# 2018年7月 グランドオープン

国登録有形文化財

旧鮎川小学校が、多世代交流の体験型ミュージアムとして生まれ変わります！

市が現在、整備を進めている「鳥海山 木のおもちゃ美術館」がいよいよ7月1日にオープンします。  
この施設は、国登録有形文化財であり地域の方に長年愛され、守られ続けてきた「旧鮎川小学校」に、地元産の木を使ったおもちゃや大型遊具を設置し、子どもから大人までが楽しめる「多世代交流・木育推進拠点」として整備されます。



旧鮎川小学校は、昭和29年(1954年)に鮎川中学校として新設された木造校舎です。明治末期から大正期の校舎形式を引き継いだ全国的にも希少な校舎で、現存する木造校舎としては秋田県最大級です。平成16年(2004年)に閉校後は、「鮎の風実行委員会」をはじめ、地元の方々が校舎を大切に保存してきました。

■入館料／	●子ども：小学生以下
<b>市内料金</b>	1日券 年間パスポート
大人	500円 1,500円
子ども	300円 1,000円
未就学児	100円 300円
<b>通常料金</b>	1日券 年間パスポート
大人	800円 2,400円
子ども	600円 1,800円

※市内在住者は、住所を証明できるものを提示すると、**市内料金**が適用されます。※その他、団体割引・障がい者割引があります。

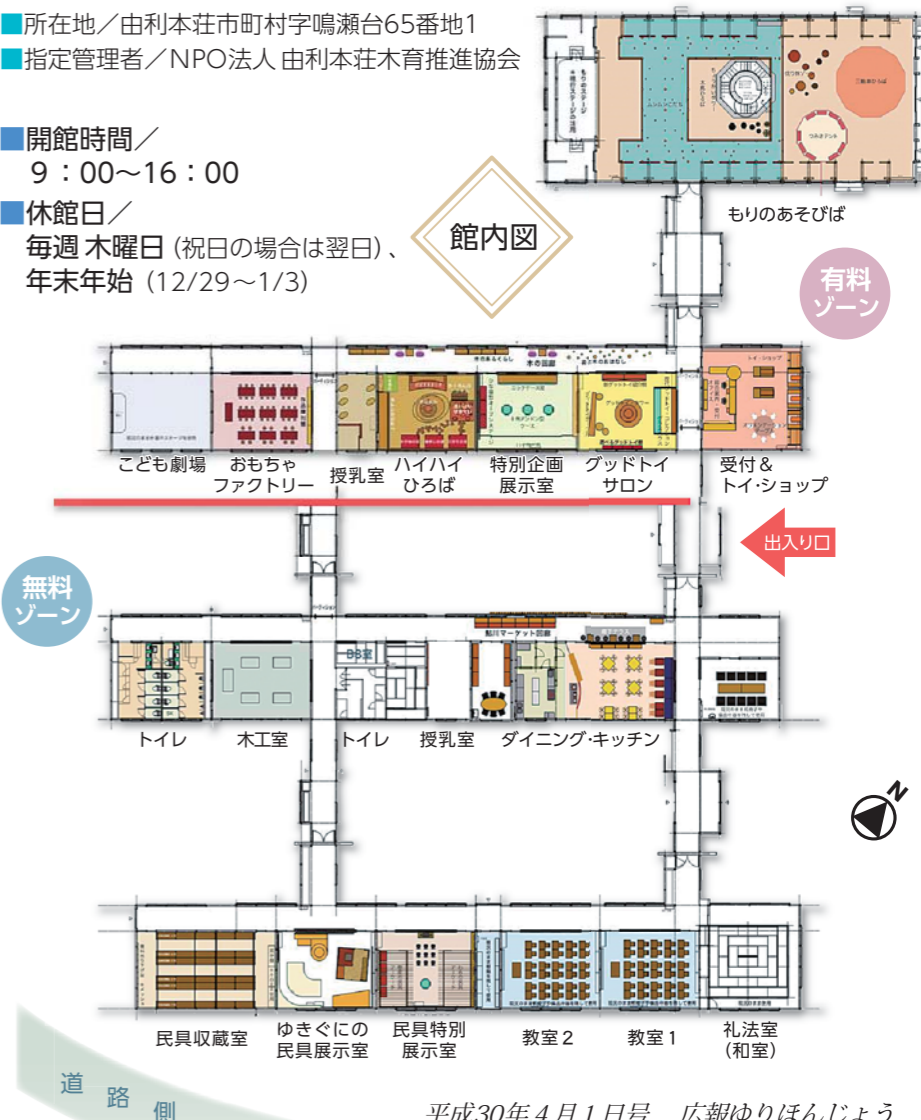
■駐車場／ ●グラウンド奥 30台 ●鮎川河川広場 70台

整備事業費 (平成30年2月1日現在)

総事業費	240,991,760円
(平成29・30年度の2カ年)	
①本体事業費	164,055,600円
電気・水道設備、大型遊具設置、棚などの製作など	
②関連事業費	76,936,160円
駐車場、プール解体、おもちゃ列車など	

国庫補助金	71,772,000円
過疎債	132,030,000円
ともしび基金	21,900,000円
一般財源	15,289,760円
合計	240,991,760円

- 所在地／由利本荘市町村字鳴瀬台65番地1
- 指定管理者／NPO法人 由利本荘木育推進協会
- 開館時間／ 9:00~16:00
- 休館日／ 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)



# ◆平成30年度 由利本荘市人事異動の概要

市職員人事（4月1日付）  
◆部長級

## 異動

### 1 異動の規模など

- ▼平成30年度当初職員数 1008人  
（行政職820人、消防職188人）  
前年同期比21人減（行政職19人減、消防職2人減）
- ▼異動対象者数 476人  
（行政職383人、消防職93人）  
前年比3人増（行政職8人増、消防職5人減）
- ▼退職者数 早期退職者を含め39人  
（行政職37人、消防職2人）
- ▼うち部長級6人（行政職6人）
- ▼新採用職員数 18人（行政職16人、消防職2人）
- ▼前年比9人減（行政職9人減）
- ▼再任用職員数 採用21人（行政職20人、消防職1人） 退職17人（行政職15人、消防職2人）

### 2 異動方針および人員配置の要点

- 「総合防災公園管理運営準備事務局」を「スポーツ・ヘルスマッション推進部」に改称し、部長以下4人を配置した。
- 鳥海ダムに関する観光計画策定などを加速するため、総合政策課内に「鳥海ダム活用推進室」を設置した。
- 「長寿支援課ねりんピック運営班」「種苗交換会事務局」「木のおもちゃ美術館整備推進事務局」を廃止した。木のおもちゃ美術館については、施設の維持管理や木育などの事業を教育委員会生涯学習課へ移管した。
- 本荘地域の出張所長および公民館長へ、部課長級で退職した再任用職員を配置した。
- 市営保育園に続く西目幼稚園の民営化に伴い、運営法人へ合わせて30人の職員を派遣した。
- 鳥寿苑と東光苑の運営法人へ職員を10人派遣した。
- 後期高齢者医療広域連合、県地域振興局（観光）、地域活性化センター、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会事務局、国土交通省東北地方整備局（退職出向）へそれぞれ職員1人を派遣した。
- 市民生活部税務課および収納課を総務部に移管した。
- 各総合支所の「振興課」と「市民福祉課」の機能を合体させ「市民サービス課」とした。

広報（号外・人事異動）別刷りもご覧ください  
◆次長・課長～新採用、3月31日付退職者については、別刷りの「広報ゆりほんじょう号外・職員人事異動」をご覧ください。

